

特定非営利活動法人 らいぶらいぶ

平成 29 年度(2017 年度)事業報告書

1. 会員に関する報告

平成 30(2018)年 3 月 31 日現在 正会員 13 人
賛助会員 66 人 (個人 63 人、団体 3 法人)
ボランティア 28 人
ブックチャンスボランティア 30 人

2. 運営に関する活動報告

今年度で法人発足 12 年目を迎え、4 期目となる相模大野図書館受託事業を中心に取り組んだ。12 月には相模原市の指定 NPO 法人の再指定を受けることができた。

(1) 理事会の開催

平成 26 年度から外部より理事を依頼し、広い視点で法人運営にあたる。

第 1 回 平成 29 年 5 月 13 日

第 2 回 平成 29 年 5 月 28 日

第 3 回 平成 30 年 3 月 11 日

(2) 事業委員会の開催

主に図書館の運営に関する事項について、討議・検討するため、事務局員 7 人が参加し毎月 1 回程度開催している。

(3) 定例会の開催

原則、毎月第 2 木曜日に事務所にて、事務局からの報告、各プロジェクトおよび新規企画提案を審議・検討する場として、正会員が参加し定例会を開催している。

(4) 働く環境の整備

産休・育休の取得、復職後の育児短時間制度や遅番シフトの免除、短時間正社員制度の導入により、仕事と家庭の両立を支援している。

3. 事業の成果

図書館運営事業

平成 28 年 10 月から受託した 4 期目の相模原市立相模大野図書館運営事業は、委託内容に新規で追加された事業等に加え、当法人からの提案事業も実施し、NPO 法人らしさを全面に打ち出すような図書館運営を行うために、皆でアイデアを出し合っている。

昨期、4 期目受託開始 3 か月で市から実績時間を問われ委託金を減額され、経営面では難しい部分があるが、現場で働く者たちのモチベーションは変わることなく運営を続けている。しかしながら市職員との立場や認識の違いは 4 期目を迎えても大きな隔たりがあり、現場での混乱が続いていることを残念に思う。

体制面では介護や転職等により退職者が例年になく多く、シフト等大変な部分もあったが、当法人の売りである長年の経験と柔軟な対応で乗り切ることができた。

LCA 国際小学校図書室の受託は 3 年目となり、蔵書の整理や読書環境の充実を司書教諭と協力しながら

進めた。平成30年3月末をもってこの事業からは撤退したが、バイリンガル学校図書室の受託運営という新たな事業に取り組んだこの3年間は、当法人正会員である専任司書の運営手腕に依るところも大きく、外部からも高い評価を得ることができた。ここでの経験を、再び相模原市の図書館運営事業に活かしていきたい。

非営利事業

平成18年から行っているエフエムさがみでの「ブックらいぶ」は本の紹介にとどまらず、メンバーが直接出演してトークライブをおこなう等の工夫を重ね、クオリティを高めている。

設立当初から開催している「絵本の中の料理を作る会」は夏休み期間の平日に開催した。年々集客の難しさを感じているこの会であるが、今回は定員を割ることはなく開催することができた。

司書力を高めるための「勉強会」を今年度も開催し、さまざまな地域や図書館からの参加があった。

「ベビーフェスタ」は、今年度ブックチャンス事業からの助成金がないこともあり、総会後に事業化自体を正会員で協議し、プロジェクトメンバーたちによる熱意と努力によって開催に至った。相模原市民文化財団との予算調整等、難しい部分も多かったが、昨年度に引き続き、今年も高い評価をいただくことができた。その結果、早々に同財団から次回開催の打診を受けている。

他団体とのコラボレーションによる事業を毎年開催できていることは、地域に根ざした非営利活動を続けてきた当法人の一つの礎であると感じる。

ブックチャンス事業

平成29年度のブックチャンス事業は、「子どもゆめ基金」の助成を受けて行った。前年度よりも助成金額が少ないことから、開催場所や回数を見直したが、子育て広場等からの要望により、ほぼ例年通りの活動回数となった。資金面で苦しい中、例年通りの規模を維持できたのは、ブックチャンスボランティアのおかげである。ブックチャンスを行う意義を深く理解し、活動してくれた。

そして平成29年11月、相模原市立相模大野図書館の読書週間において、「絵本で子育てワークショップ」という名称でブックチャンスがようやく実現し、多くの親子に参加してもらい、大変好評だった。

平成21年度にブックチャンスが始まって10年。助成先を探すのも難しく、寄附金や自己資金にも限りがあるため、平成30年度をもってブックチャンス事業から撤退することとなった。幸い、ブックチャンスボランティアからは活動を続けていきたい、という声があがり、平成31年3月末日を区切りとして、ブックチャンスボランティアにどのように引き継いでいくか、意思の確認やスケジュールなどの話し合いを行った。ブックチャンスボランティアが、ブックチャンスの必要性を見出し、活動を生きがいとしている姿勢も感じられ、ブックチャンス事業の成果を再確認できた。

4. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 図書館利用の普及啓発事業

ア 「さがみはら地域づくり大学講座」講師受託事業

同講座の講師を受託。

- ・ **内容**

公益財団法人相模原・町田大学地域コンソーシアムの同講座基礎コース「地域づくりの組織運営と資金計画」の第4コマ「組織設立と運営を事例から学ぶ～NPO 法人の場合～」のテーマに沿いながら、当法人の設立から運営、現在の状況、今後の展望などを講義した。

- ・ **日時** 平成29年11月1日(水) 15:00～16:30
- ・ **場所** ユニコムプラザさがみはら
- ・ **対象者** 「さがみはら地域づくり大学」受講生
- ・ **参加者** 15人
- ・ **従事者人員** 2人
- ・ **支出額** 6,000円

イ 「図書館雑誌」原稿執筆受託事業

同雑誌の「図書館員の本棚」欄での書評原稿の依頼を受託。

- ・ **内容**

公益社団法人日本図書館協会の図書館雑誌編集委員より『サインはもっと自由につくる:人と棚をつなげるツール』(中川卓美/著 日本図書館協会)の書評依頼を受け、相模原市立相模大野図書館でのグランドデザイン委員会の経験を踏まえて執筆した。

- ・ **掲載号** 平成30年3月号掲載
- ・ **従事者人員** 1人
- ・ **支出額** 5,000円

② 読書推進に関する事業

ア ブックチャンス事業

乳幼児と保護者が絵本を介して、心ふれあう楽しいひとときがもてるチャンスを作っていこうとする事業。

* 平成 29 年度 子どもゆめ基金助成事業。

ブックチャンス

・ 内容

平成 28 年度に引き続き、継続的にブックチャンスを受けられるように、また「チャンス」を知ってもらうために、市内の子育て支援の場所で行った。

今年度も、昨年度からの継続依頼を受け、単発での開催も多かった。

継続して行うことで、何度も参加してくれる親子が増えたり、子育て支援の担当者との信頼関係もさらに深まった。

11 月には、相模原市立相模大野図書館での「秋の読書週間」のイベントのひとつとして、初めて図書館で実施することができた。

また、ブックチャンスの意義を改めて理解するとともに、交流を図り、継続的に活動に参加してもらえるよう、ボランティア向けのフォローアップ研修を 2 回実施した。

- ・ **日時** 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 全 88 回
- ・ **場所** 相模原市内の子育てひろば等 17 か所
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の親子
- ・ **参加者** 延べ 1,044 組
- ・ **従事者人員** 13 人、ボランティア 33 人(活動ボランティア延べ 230 人)
- ・ **支出額** 726,557 円

イ ブックチャンス関連事業「ベビーフェスタ」

* (公財)相模原市民文化財団 共催事業

・ 内容

相模原市内にて、子育て支援を行っているグループと連携してのイベント。

赤ちゃんの五感に働きかけ、感性を育てる一助となるよう、ブックチャンスを中心に、布えほん・布おもちゃ、ベビーヨガ、音あそび、わらべうたの各コーナーを体験してもらった。参加団体も、それぞれの持ち味を活かしたプログラムを通して、子育てを応援した。

また、参加団体間でお互いのコーナーを見学・体験することで、活発な情報交換・交流がおこなわれた。

- ・ **日時** 平成 30 年 3 月 4 日(日) 9:00～16:30
- ・ **場所** おださがプラザ 多目的ルーム
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の乳幼児(4 か月～18 か月)とその保護者
- ・ **参加者** 44 組(子ども 45 人 保護者 76 人)
- ・ **従事者人員** 5 人、ボランティア 11 人
- ・ **支出額** 70,957 円

ウ コミュニティラジオ放送番組による読書推進活動事業

放送による読書案内、当法人主催・共催などのイベント案内事業。

- ・ **内容 「ブックらいぶ」**
エフエムさがみ(83.9MHz)で当法人の正会員による「おすすめの本」の紹介や、当法人主催のイベント等の案内を発信する。時流・季節に沿ったものを中心に、多分野にわたる内容を紹介した。
また、平成 27 年度より開設した専用フェイスブックを通して、収録風景などを発信した。
平成 29 年 7 月に放送 11 周年、平成 30 年 3 月 10 日に放送 600 回となった。
- ・ **日時** 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 毎週土曜日 11:00～11:15
- ・ **場所** エフエムさがみ
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の市民
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 120,000 円

エ 体験型読書推進活動事業

絵本の中に出てくる料理を実際にも作ってもらうことによって、より絵本に親しんでもらうための事業。

- ・ **内容**
「クッキーをつくろう！」絵本の中の料理を作る会
テーマはクッキー。フルーツポンチも作った。クッキーに関する絵本の読み聞かせと関連する本の紹介も行った。お土産としてレシピカードも作成した。
- ・ **日時** 平成 29 年 7 月 31 日(月) 10:00～12:00
- ・ **場所** 大野南公民館 料理実習室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の小学生
- ・ **参加者** 24 人
- ・ **従事者人員** 4 人 ボランティア 2 人
- ・ **支出額** 18,882 円

オ 「子ども・絵本・人をつないで」講師受託事業

同講座の講師を受託。

- ・ **内容**
相模原女性学習グループ連絡協議会・読みきかせグループによる学習会での同講座にて、読みきかせをしている人、これから始めたいと思っている人、関心を持っている人に対して、読みきかせに向く絵本の紹介、展示を行った。
また、読みきかせを行う際の絵本の持ち方・めくり方なども、実演を交えて話しをした。
- ・ **日時** 平成 30 年 1 月 15 日(月) 10:00～12:00
- ・ **場所** 大野北公民館
- ・ **対象者** 読みきかせボランティアの活動をしている・関心がある人
- ・ **参加者** 12 人
- ・ **従事者人員** 1 人
- ・ **支出額** 3,000 円

③図書館運営事業

ア 相模大野図書館運営受託事業

相模原市立相模大野図書館の窓口業務等を受託し、地域に根ざした図書館の運営。

・ 内容

日常業務のほか、活用講座、読書週間等のイベントを開催し、実習生、インターンシップ、就労支援生を受け入れた。また、昨年市と連携して行った正月イベントと、市開催イベントであった大人のためのおはなし会が受託業務の一部となった。

・ 日時 通年

・ 場所 相模原市立相模大野図書館

・ 従事者人員 13人（実働44人）

図書館活用講座

図書館利用普及啓発を目的に、図書館をより活用するための講座を4回開催した。（主催 相模原市立相模大野図書館）各回、図書館員による関連本の紹介、冊子の作成をした。同時にそれぞれの図書館活用講座にちなんで「特集コーナー」を設けた。

「宇宙人の見つけ方～系外惑星における生命居住可能性～」

- ・ **内容** 初心者にもわかりやすい天文学の講座。日曜開催だったため30～40代の参加者が多かった。自然科学系のニーズがあることが分かった。
- ・ **講師** 原川紘季氏（国立天文台）
- ・ **日時** 平成29年6月18日（日）14:00～16:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 49人
- ・ **従事者** 4人

「健康ウォーキング～ウォーキングの基本とストレッチを楽しく学ぼう！～」

- ・ **内容** 講義だけでなく実践もあり好評だった。相模原市社会福祉協議会大野南地区生活支援コーディネーター3名が見学され、今後図書館と連携して活動を広げたいとご要望があり、後日打合せを行った。相互に展示や広報等協力することになった。
- ・ **講師** 伊藤明氏（相模原市スポーツ推進課）
- ・ **日時** 平成29年9月22日（金）10:00～12:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 27人
- ・ **従事者** 3人

「境川流域の古の人々～考古学で語る郷土の歴史～」

- ・ **内容** 毎回好評の郷土史講座。今回は秋の読書週間のイベントの一つとして開催した。講師のファンの参加も多く、博物館との相互利用につながることが期待された。
- ・ **講師** 中川真人氏(相模原市立博物館学芸員)
- ・ **日時** 平成 29 年 11 月 7 日(火) 14:00～16:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 45 人
- ・ **従事者** 3 人

「Herb Style ～ハーブの楽しみ方と栽培～」

- ・ **内容** 当日は降雪のためキャンセルが多くなってしまったが、参加者は熱心に耳を傾けていた。講師が用意してくださったハーブティーをいただきながらの、和やかな講座となった。
- ・ **講師** 志村みか氏
- ・ **日時** 平成 30 年 2 月 2 日(金) 10:00～12:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 36 人
- ・ **従事者** 4 人

秋の読書週間

平成 29 年 10 月 27 日～11 月 9 日の秋の読書週間(図書館では図書整理日のため 8 日まで)に、利用者参加型の特集コーナー(ブックカバーのプレゼント付き)、図書館ツアー、絵本総選挙、国会図書館デジタルコレクションPR、手話付きおはなし会など、読書活動推進のための各イベントを行った。

今年度新たに受託業務となった大人のためのおはなし会、ブックチャンスのボランティアの協力を得て「絵本で子育てワークショップ」を行い、好評だった。

大人のためのおはなし会

- ・ **内容** 相模原市民文化財団共催イベント。夏目漱石の『夢十夜』の朗読と、その時代に縁のある音楽の鑑賞。開催前に『夢十夜』を読んできたという方や開催後に夏目漱石の本を借りに来館された方も見受けられた。最後に全員で合唱をし、とても良い雰囲気だった。
- ・ **出演者** 長池慶子氏（朗読）
干場和美氏（ソプラノ）
尾崎由佳氏（ピアノ）
- ・ **日時** 平成 29 年 11 月 1 日(水) 13:30～15:30
- ・ **場所** 相模女子大学グリーンホール 多目的ホール
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・
- ・ **参加者** 189 人
- ・ **従事者** 4 人

お正月イベント

平成 30 年 1 月 5 日(金)新年最初の開館日に、今年も図書館に親しんでいただけるよう新年のご挨拶も込めイベントを行った。

各班で年末から準備し、新春図書館おみくじ、干支しおりプレゼント、紅白の本展示、市内観光地のパンフレット展示・配布等を行った。児童向けには、当たり付き児童向けおみくじ、絵本を取り札にしたカルタ大会「絵本でカルタ」を開催し 13 名の参加があった。

また、相模の大風センターからお借りした凧を外階段、児童フロアに展示し、お正月らしい雰囲気を出した。1 月 9 日付の神奈川新聞に掲載された。

イ 相模原市内学校図書室業務受託事業

日本人としての国際人教育を目指す LCA 国際小学校の図書室の運営を受託。

- ・ **内容**
バイリンガル機能を持つ学習センターとしての役割を果たすため、蔵書・館内環境の整備、生徒及び教職員に来て見て活用してもらえる図書室づくりを行った。
- ・ **日時** 平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
- ・ **場所** LCA 国際小学校図書室
- ・ **従事者人員** 1 人

- ・ **支出額** 95,048,821 円(図書館運営事業ア, イ合計)

ウ 「日本図書館協会神奈川のつどい 2017」講師受託事業

同講演の講師を受託。

- ・ **内容**
神奈川県内の認定司書 6 人が集まり、同講演にてそれぞれ認定司書を取った理由や今後の可能性、現在の業務との関連について話しをした。
- ・ **日時** 平成 29 年 11 月 7 日(火) 18:30～20:30
- ・ **場所** 横浜市開港記念会館 1 号館
- ・ **対象者** 神奈川県の図書館員及び関係者
- ・ **参加者** 40 人
- ・ **従事者人員** 1 人
- ・ **支出額** 3,000 円

エ 勉強会事業

図書館関連の各分野における有識者の講師による講演。

- ・ **内容** 「レファレンスに役立つ～郷土資料の調べ方～」
神奈川県や相模原市を中心とした郷土資料について、関連資料の紹介、調べ方のテクニック、紙資料以外の情報(インターネットやデータベースなど)の利用方法などについてお話しいただいた。
- ・ **講師** 白石智彦氏(神奈川県立図書館企画サービス部地域情報課所属)
- ・ **日時** 平成 29 年 11 月 20 日(月) 9:30～11:30
- ・ **場所** ユニコムプラザさがみはら
- ・ **対象者** 当法人会員、図書館関係者、一般市民
- ・ **参加者** 41 人
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 17,552 円

図書館関係研修参加実績一覧（平成 29 年度）

No.	日時	研修名	主催者	研修内容	備考
1	4/8	内部研修会/「接遇」 相手に満足を提供する ために	認定 NPO 法人 らいぶらいぶ	接遇の心構え、対人心理の理解、 応対の技術、口のきき方、態度・振舞 いなどのサービスに対する考え方や 行動を学び、おもてなしの心を育てる	講師： えび原恵子氏
2	6/7 ～9	障害者サービス担当職員 養成講座	日本図書館協会	障害者サービスの基礎	実習：調布市立 中央図書館
3	6/17	みんなに読む喜びと楽しさ を伝えよう	公益財団法人 伊藤忠記念財団	読むための障害となるさまざまな原因 と、それを解消するために有効な媒 体、支援方法について学び、読書支援 ができる人材の養成を目指す	講師：読書バリ アフリー研究会 於：東京都立 多摩図書館
4	7/5	レファレンス協同デー タベース事業担当者研修会	国立国会図書館	レファレンス協同データベースのシス テム機能・データの作成・公開に必要 な知識・技能を理解する	於：国立国会 図書館東京本館
5	9/22・ 25・29	ワークショップ「図書館の未 来準備」	株式会社 未来の図書館 研究所	領域①図書館情報システム「図書館 サービスのためのシステム構築と運 用」「Web を活用した図書館サービス」 領域②図書館の役割 1「図書館と地域 コミュニティ」 領域③図書館の役割 2「図書館と 学び 1～3」	於：株式会社 ヴィアックス 研修センター
6	9/28・ 10/26	市町村図書館等職員研修 /専門研修「レファレンス」	神奈川県立 図書館	9/28 科学技術の調べ方 10/26 日本の法令の調べ方	於：神奈川県立 図書館
7	10/13	全国図書館大会 東京大会	日本図書館協会	分科会(数字は分科会番号) 1「公立図書館の指定管理者制度」 2「図書館とまちづくり」 5「図書館資料としてのマンガ」 8「一人一人のための児童図書館 サービス」 9「ディスレクシアなど学習障害を含む 発達障害者・児への図書館 サービス」 18「認知症患者と図書館」	於：国立オリンピ ック記念青少年 センター
8	10/20 ～21	レファレンスサービス研修 ～法令・議会・官庁資料を 中心に～	国立国会図書館	レファレンスサービスの実態と課題か ら、レファレンスプロセス・レファレンス インタビュー・探索戦略立案などのレフ ァレンスサービスに関する理論の解説 及び実務への活用方法を提示	於：国立国会 図書館東京本館

9	11/18	JPIC 読みきかせ サポーター実践講座 ～グループワーク編	一般財団法人 出版文化産業 振興財団	おはなし会を楽しく開くポイントを学ぶ ・特別講演 「子どもの発達と絵本の関わり」 ・おはなし会&絵本サロン ・紙芝居講座&グループワーク	講師： 藤田浩子氏 於：横浜ランド マークタワー
10	11/7 ～9	第 19 回図書館総合展	図書館総合展 運営委員会	11/7「自治体施策と図書館」 11/8「1年間で 300 万人が足を運ぶ図 書館！」「地方創生レファレンス大賞」 「がんによる離職は図書館がくい止め る」	於：パシフィコ横浜
11	12/14	レファレンス協同データ ベース事業フォーラム	国立国会図書館	中高生向けレファレンスサービスと レファレンス協同データベースの活用	於：国立国会 図書館国際 子ども図書館
12	3/8	内部研修会/ 障害を持った人への理解を 深め、気持ちのよい対応を するために	認定 NPO 法人 らいぶらいぶ	障害があることへの理解、関わり方 について学び、気持ちの良い対応を行う ための一助にしていく	講師：障害者支 援センター松が 丘園 就労援助 センター 三島広和氏
13	3/12	子どもの本 ～この 1 年を振り返って 2017	出版文化産業 振興財団	2017 年はどんな子どもの本が出版さ れ、どのように読まれたか	於：株式会社 図書館流通 センター